

令和5年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	安全・安心に関するシンクタンク機能の立上げ			担当部局庁	科学技術・イノベーション推進事務局	作成責任者	
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(安全・安心担当)	萩原 貞洋	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	内閣府設置法(平11法89)第4条、第40条の4			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定)		
政策	20. 科学技術・イノベーション政策			主要経費	科学技術振興費		
施策	23. 科学技術イノベーション基本計画の策定・推進						
政策体系・評価書URL	https://www8.cao.go.jp/hyouka/r3bunseki/r3bunseki-9.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	本事業では、安全・安心に関する分野を対象とした調査分析や政策提言を行うシンクタンクを我が国において設立することを目的としている。近年、自然環境や経済・社会活動を巡る非連続な変化に伴い、国及び国民の安全・安心は様々な脅威にさらされており、先端技術の利活用によりこれらの脅威に対応することが極めて重要となっている。また、科学技術・イノベーションが激化する国家間の覇権争いの中核を占めている中、安全・安心な社会の構築のため、先端技術への期待が極めて高まっている。これらの様々な脅威等に対応するため、ニーズとシーズのマッチングを行った上で、これらの脅威等に対応するための先端的な重要技術に関する調査分析や政策提言を行う安全・安心に関するシンクタンクを設立して、総合的な安全保障の基盤となる科学技術力の強化につなげることを目指している。						
現状・課題 (5行程度以内)	「第6期科学技術・イノベーション基本計画」(令和3年3月26日閣議決定)に基づき、内閣府では令和5年度目途の安全・安心に関するシンクタンクの組織設立に向けて、令和3年度から令和4年度にかけてシンクタンク機能に関する試行事業を行ってきたところである。しかしながら、試行事業の成果も踏まえて関係機関と議論を進めていく中で、本格的なシンクタンク立上げの具体案をまとめるには更なる検討・調整が必要であることが判明したため、令和4年11月から有識者による検討会を開催してシンクタンクの基本設計について検討を進め、令和5年度からはその結果も踏まえてシンクタンクの設立準備を本格化させていく。						
事業概要 (5行程度以内)	本事業は、安全・安心に関するシンクタンクの設立準備及び設立までに必要な人材の育成や先行的な調査研究を、調査研究機関等に対して委託する事業である。令和5年度においては、「安全・安心に関するシンクタンクの基本設計」(令和5年4月7日内閣府科学技術・イノベーション推進事務局)に基づき、シンクタンクの組織形態の在り方などについて具体化に向けた検討を更に深めるとともに、人材の育成や先行的な調査研究といったシンクタンクのコア機能として必要な取組を並行して行うことにより、安全・安心に関するシンクタンクの設立準備を本格化させる。併せて、令和3年度から令和4年度に行った試行事業における調査分析のフォローアップを継続することによって、中長期的な観点からの技術動向や情勢の変化の把握につなげる。						
事業概要URL	https://www8.cao.go.jp/cstp/anzen_anshin/anzen_anshin.html						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	28.6	300	352	171	505
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	28.6	300	352	171	505		
執行額(G)	10.8	176.8	286.4				
執行率(%) =(G)/(F)	38%	59%	81%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	38%	59%	81%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	科学技術・イノベーション推進事務局			安全・安心に関するシンクタンクの設立までに必要な調査分析について、手法の高度化や対象テーマ拡充を実施することに伴う増。要望額:351		
	(目)	科学技術振興調査等委託費	171	505			
		その他					
	計(A)	171	505				

活動内容① (アクティビティ)	安全・安心に関するシーズとニーズのマッチング並びにマッチングにより特定された重要技術の調査研究及び社会実装								
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	安全・安心分野におけるニーズとシーズのマッチングを行う仕組みの構築	マッチングを行う仕組み(調査研究機関等)の数	活動実績 当初見込み	領域	2	-	3	-	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	効果発現の初期段階として、まずは令和2年度の委託事業によってシーズとニーズのマッチングに関する調査研究を行うことによって、これまで我が国に存在していなかった、安全・安心に関するニーズとシーズをマッチングさせる仕組み(アウトプット)を実現した。しかしながら、マッチングの仕組みを作るだけでは、我が国が直面している安全・安心を脅かす様々な脅威等に対応するための先端技術の利活用を行うことはできないため、マッチングによって特定された重要技術に関する研究開発に着手することを初期アウトカムとして設定した。							
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度	
	マッチングによって特定された重要技術に関する研究開発に着手する。	マッチングによって特定された重要技術に関する研究開発の実施件数	成果実績	件	-	-	-	-	
			目標値	件	-	-	4	4	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	令和4年度及び令和5年度の目標値:経済安全保障重要技術育成プログラムの研究開発ビジョン(第一次)に基づく研究開発構想のうち、令和2年度の委託事業でマッチングの対象としたサイバー空間領域及びバイオ領域に関するもの https://www8.cao.go.jp/cstp/anzen_anshin/kprogram.html								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	マッチングによって特定された重要技術に関する研究開発に順次着手することで、我が国の安全・安心の確保につながる先端技術が社会実装されていくことが予想されるため、「社会実装に至った重要技術の件数」を長期アウトカムとして設定した。							
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 -年度	
	-	-	成果実績		-	-	-	-	
			目標値		-	-	-	-	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	-							
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10年度	
	マッチングにより特定された重要技術について、社会実装を行う。	社会実装に至った重要技術の件数	成果実績	件	-	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	4	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	目標最終年度 令和10年度の目標値:経済安全保障重要技術育成プログラムの研究開発ビジョン(第一次)に基づく研究開発構想のうち、令和2年度の委託事業でマッチングの対象としたサイバー空間領域及びバイオ領域に関するもの https://www8.cao.go.jp/cstp/anzen_anshin/kprogram.html								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

事業に関連するKPIが定められている関連決定等	名称	
	URL	
	該当箇所	

事業所管部局による点検・改善

点検結果	<p>・アクティビティ①について、短期アウトカム(マッチングによって特定された重要技術に関する研究開発の実施件数)が0件であったものの、令和5年7月下旬(予定)においてサイバー領域(ハイブリッドクラウド関係)の研究開発の委託先が決定する見込みであることから、令和5年度中には初期アウトカムが達成される予定である。</p>	目標年度における効果測定に関する評価(令和11年度実施)
改善の方向性	<p>・アクティビティ①について、目標年度に向けて引き続き取り組む。</p>	

外部有識者の所見

-	
---	--

行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見

現状通り	過去の外部有識者の所見を踏まえ、引き続き事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効果的かつ効率的な執行に努めること。
------	---

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り	過去の外部有識者の所見等も踏まえ、引き続き事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効果的かつ効率的な執行に努める。
------	--

公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ

過去に受けた指摘事項と対応状況		

上記への対応状況

--	--

その他の指摘事項

--	--

上記への対応状況

--	--

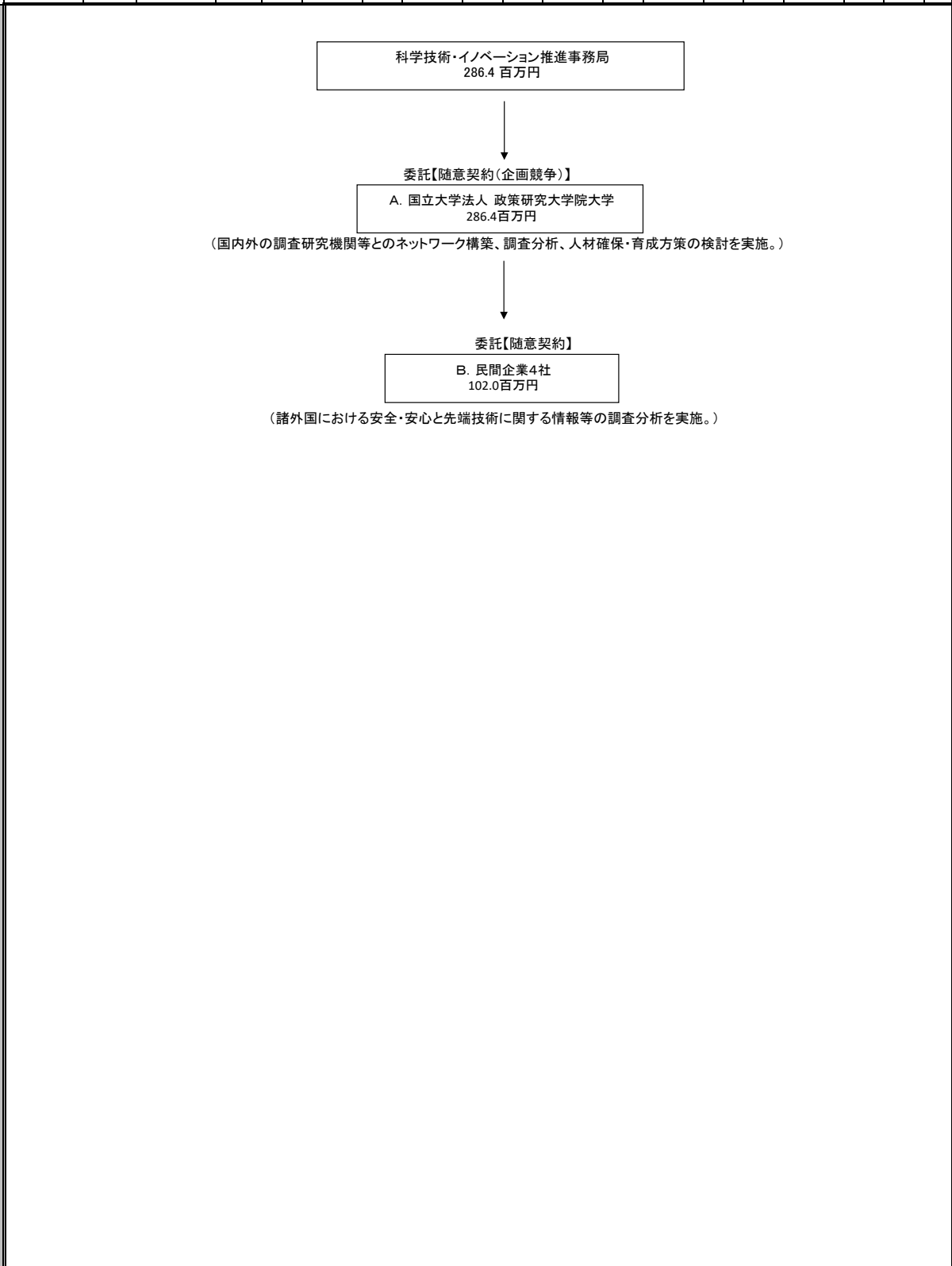
備考

-	
---	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度																				
平成24年度																				
平成25年度																				
平成26年度																				
平成27年度																				
平成28年度																				
平成29年度																				
平成30年度																				
令和元年度																				
令和2年度	内閣府		新02		0013															
令和3年度	2021	府	20	0182																

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について記載 する。費目と用途の双方で実情が 分かるように記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
委託費	RAND Corporation等への調査分析委託業務		102	人件費	調査分析業務	32.2
人件費	調査分析業務		83.9	その他の経費	印刷費、事務手続費	3.8
その他の経費	システム運用サポート費、会議出席謝金		76.5			
一般管理費	一般管理費		24			
計			286.4	計		36

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人 政策研究大学院大学	5010405004953	関係機関とのネットワーク構築、調査分析等の実施	286.4	随意契約(企画競争)	1	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	RAND Corporation		諸外国における安全・安心と先端技術に関する調査分析	36	随意契約(不落・不調)		-	
2	Orbis OPERATIONS		諸外国における安全・安心と先端技術に関する調査分析	27.4	随意契約(その他)	1	-	
3	MITRE		諸外国における安全・安心と先端技術に関する調査分析	26.6	随意契約(不落・不調)		-	
4	アスタミューゼ株式会社	9010001119219	諸外国における安全・安心と先端技術に関する調査分析	12	随意契約(企画競争)	1	-	